

七小・特別活動通信

平成30年 7月20日
国立市立国立第七小学校
校長 大山 紀子
特別活動部 第1号

本日をもたらして、無事1学期の教育課程が終了しました。これから始まる夏休みに、子供たちはわくわくドキドキしていることでしょう。皆様にとって、すてきな夏休みとなりますよう、願っています。

さて、わくわくドキドキというと、学校生活にもそうした瞬間はたくさんあります。保護者の皆さんも今までの学校生活の中で、たくさん経験されているかもしれません。それは移動教室？学芸会？運動会？その他に、転校生の歓迎会だったり、クラスのみんなで計画して遊んだことだったりするかもしれません。そうした心に残るすてきな思い出の一角を担っているのが“特別活動”というものです。もちろんそれ以外にも担っているものはたくさんあります。一見知られているようで、意外と知られていない七小の特別活動について知っていただきたくて、この通信を書くことにしました。ぜひ関心をもっていただければ幸いです。

七小では特別活動を通して

- ☆いろいろな人たちと協力したい行動したいすることで、よりよい集団活動ができるようになる
 - ☆問題を見付けたり、それを解決したいことができるようになる
 - ☆自主的に行動して、今よりもっとすてきな自分になれるようになる
- ことを目標に活動しています。

七小には次のような特別活動があります。

①委員会活動



委員会活動は、5・6年生が中心となって、学校のために当番活動や学校の現状を話し合い、もっとよくするためにどうしたらよいか、検討しています。

☞委員長紹介集会で6年生が今年度の目標を発表します



これまでの成果や七小のみんなへのお願いなどがある際は、朝会の時間を使って、呼びかけます。今学期は、「飼育栽培委員会」「体育委員会」「集会委員会」が担当してくれました。それぞれ工夫を凝らした発表で、楽しいです。

2学期はどんな発表が待っているのでしょうか。



②クラブ活動



昨年度より一新しました

クラブ活動は現在、4～6年生が所属し、8団体が活動しています。年度末に6年生が企画し、下級生に参加を呼びかけます。

この活動の目標は、「自治的な運営ができること」です。6年生と担当の先生で次回の予定を話し合いながら計画を立てています。職員室前に掲示板があります。ぜひご覧ください。

③異学年交流（たてわり班活動）

たてわり班活動は、異学年と協力して活動することの楽しさを感じることを目的とし、1～6年生を24の班に分け、活動しています。

5月末に顔合わせを行いました。その後、交流給食やたてわり班遊びを通して、関係を築いています。今後は、活動を通して高学年は規範意識やリーダーシップを育て、低学年は協力して活動することの楽しさや大切さを感じさせたいと思います。



④奉仕活動

1学期は、6月18日から22日までの5日間、6年生があいさつ運動を行いました。元気に挨拶をする6年生の姿を見習って、朝から気持ちのよい挨拶の音が響いていました。2学期にもあいさつ運動がありますので、更に元気よく、気持ちのよい挨拶ができればと考えています。また、その他にも草取りや落ち葉拾いなどの活動を通して、みんなのためにすすんで働こうとする態度を育てていきます。

⑤宿泊体験

6月に2泊3日で6年生が日光へ、8月に1泊2日で5年生が清里へとそれぞれ宿泊学習に参加します。日常生活では味わえない、魅力がいっぱいです。学習だけでなく、集団で生活の規律を身に付けたり、仲間との絆を深めたりと、学年・学級としての結束力が高まる大切な時間です。学校便り（学校HPにはカラー版）でもご報告してありますのでご覧ください。

⑥学級活動



学級活動はまさにクラスを今よりもよくするための時間です。各クラスに“学級目標”があります。この目標に近付くために、学級会をしたり、係活動したりします。学校で一番長く生活する自分のクラス。各学級、工夫を凝らした活動を行っています。

この他にも「1年生を迎える会」や3学期の「6年生を送る会」も特別活動です。

1学期は発足が中心だったものが、2学期ではより形になっての活動となります。今冬配布予定の第2号では、成長した姿をお伝えできればと考えています。次号をお楽しみに！

To be continued...